

小学校

もしもの世界は良い世界？

○目標となる資質・能力

規律性・道徳性、自治集団づくりに資する力、思いやり・他者理解

○指導のねらい

決まりを守らなくてもいい世界の様子を考えさせることをとおして、みんなが安全で安心な生活を送れるために決まりを守ろうとする態度を育成する

○準備するもの

ワークシート1・2（A3に拡大）×グループ数、ワークシート3×生徒数

○教育課程、実施時期

特別活動、年度はじめ・落ち着いた生活が難しくなってきた時期

○留意点など

ねらいに沿った展開になるように、実態に合わせて例示を変えるなどの工夫をする

展開例

	学習活動	指導上の留意点
導入 10分	1 練習として「信号無視をしてもいい世界」の様子を下記の①～④の順にみんなで考え、本時のねらいと活動の方法を知る 「もしもの世界」の住人になって考えてみよう	・もしもの世界の住人になりきるように十分にイメージを膨らませながら、活動への動機づけを行う
展開 25分	2 「もしもの世界」の例をもとに、グループごとに担当する「もしもの世界」を決める 3 ワークシート1を使ってグループごとに「もしもの世界」の様子について話し合う ①嬉しかったり楽になったりすること ②辛かったり困ったりすること ③どんなことが起こっているか ④私たちの世界へのメッセージ 4 ワークシート2を使って発表の準備をした後、グループごとに発表する	・例の中から選択させてもよいし、自分たちで考えさせてもよいが、選択に時間が取られないようにする ・その世界の住人となったイメージを膨らませ、自由な発想を喚起するように支援する ・メンバー全員が意見を出し合えるように支援する ・その世界の様子が伝わるように工夫をさせる
まとめ 10分	5 全体で「もしもの世界」の共通点をみつけ、私たちの現実の世界をより暮らしやすくするために必要なことを考える 6 ワークシート3に、みんなの安全・安心のために自分が気をつけようと思うことを書く	・安全・安心のために決まりがあること、機能させるためには少しずつの我慢が必要なことを認識させる ・何名かに発表させてもよい

参考

○導入について

本授業は、決まりを守らなくてもいい世界（「もしもの世界」）の住人の視点から私たちの世界を顧みること、決まりの意味、守る大切さを実感させることをねらいとしている。そのためには、「もしもの世界」のイメージを十分に膨らませ、その世界の住人目線による思考を引き出す必要がある。導入では、練習課題として信号機の例を用い、その世界のイメージを膨らませるように誘導しながら、①嬉しかったり楽になったりすること（例：信号待ちしなくていい、渡りたいときに渡れる）、②辛かったり困ったりすること（例：車が止まらないから危ない、いつまでも渡れないかもしれない）、③どんなことが起こっているか（例：どの交差点も大渋滞、事故が多発）、④私たちの世界へのメッセージ（例：信号待ちは少し嫌だけど、みんなが守ることで安全に渡れるんだよ）の順に意見を出させる。この導入を通して本時のねらいと活動方法の理解を促すとともに、他の「もしもの世界」も考えてみたいという気持ちを高めていくことが重要である。

○「グループごとに担当する『もしもの世界』の様子について話し合う」について

各グループが担当する「もしもの世界」を決める。右図はその際に示す世界の例であるが、クラスの実態に即した例を考えて示すようにする。例示されたものではなく自分たちで考えた「もしもの世界」で行うことができる。できればなお良い。

<学校生活>

- ・廊下を走ってもいい世界
- ・学校にゲーム機を持ってきてもいい世界
- ・授業中に関係ない話を自由にしてもいい世界
- ・教室でボール遊びをしてもいい世界
- ・人の嫌がることを言ったりしたりしてもいい世界

<日常生活>

- ・夜に出歩いてもいい世界
- ・スマホやゲームをずっとしていてもいい世界
- ・暴力を振るってもいい世界

○「発表の準備をした後、グループごとに発表する」について

ワークシート2の発表シートを用いて発表の準備をさせる。可能であればこの発表シートを使わずにより独創的な発表（実況中継や寸劇で表現するなど）ができるとなお良い。グループの全員が話し合いや発表に加われるように配慮する。発表の際、ポイントとなる発言を教員が黒板に書き出しておくと次の展開がスムーズになる。

○「『もしもの世界』の共通点をみつけ…」について

全グループの発表後、「もしもの世界の共通点はどんなことだろう」と投げかけ、「全員が幸せではない」「困ったことが起きている」のような発言を引き出す。そして、現実の世界で安全・安心に暮らすために必要なこと、そのために自分が気をつけるべきことをワークシート3を用いるなどして考えさせる。最後に、みんなが安全・安心に暮らせるために決まりがあること、そのためには、その決まりをみんなが守ることが必要だということを全員で確認するようにする。

「もしもの世界は良い世界？」

グループ：

このグループが担当する世界の名前は…

世界

(1) うれしかったり楽になったりすること

(2) つらかったり困ったりすること

(3) どんなことが起こっているか

(4) 現実の世界の人たちへのメッセージ

「もしもの世界は良い世界？」発表シート

グループ：

①私たちのグループは、

「

世界」を考えてみました。

②具体的に言うと、この世界は、

「

」世界です。

③この世界でのうれしいことや楽なことは、

「

」です。

④逆に、この世界でのつらかったり困ったりすることは、

「

」です。

⑤この世界では、

「

」が起こっています。

⑥現実の世界に住んでいるみなさんに伝えたいことがあります。それは、

「

」です。

⑦現実の世界が、安全で安心に暮らせる世界であるためには、

「

」が必要だと思います。

みんなで、現実の世界を楽しい世界にしていきましょう！

「もしもの世界は良い世界？」

年 組 番 名前：

(1) 安全・安心に暮らせる世界にするためには、何が必要だと思いますか。

(2) 安全・安心でみんなが楽しく過ごせるクラスにするために、あなたはどんなことに気をつけていこうと思いますか。

(3) この授業の感想を書きましょう。